

交付運用報告書

新興国ハイイールド債券ファンド

新興国資源通貨コース

追加型投信／海外／債券

第8作成期

作成対象期間（2016年3月23日～2016年9月20日）

第43期(決算日 2016年4月19日) 第46期(決算日 2016年7月19日)
第44期(決算日 2016年5月19日) 第47期(決算日 2016年8月19日)
第45期(決算日 2016年6月20日) 第48期(決算日 2016年9月20日)

第48期末（2016年9月20日）	
基準価額	4,528円
純資産総額	164百万円
第43期～第48期 （2016年3月23日～2016年9月20日）	
騰落率	8.9%
分配金合計	420円

(注1) 以下本書において、基準価額および分配金は1万円当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています。(以下同じ)

運用報告書に関するお問い合わせ先

みずほ投信投資顧問株式会社 営業管理部



0120-324-431

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の委託会社のホームページの「ファンド・基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの情報ページにおいて「運用報告書(全体版)」で閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。



<http://www.mizuho-am.co.jp/>

お客さまの口座内容などに関するご照会は、お申込みされました販売会社にお尋ねください。

受益者(投資者)の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご投資頂いております「新興国ハイイールド債券ファンド 新興国資源通貨コース」は、2016年9月20日に第48期決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建ての新興国の高利回り事業債(以下「ハイイールド社債」といいます。)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指すことを目的としており、当作成対象期間につきましても、それに沿った運用を行いました。ここに、謹んで第43期から第48期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

みずほ投信投資顧問株式会社は、2016年10月1日に新光投信株式会社、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社(資産運用部門)と統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社に変更する予定です(関係当局の認可等を前提とします)。

MIZUHO

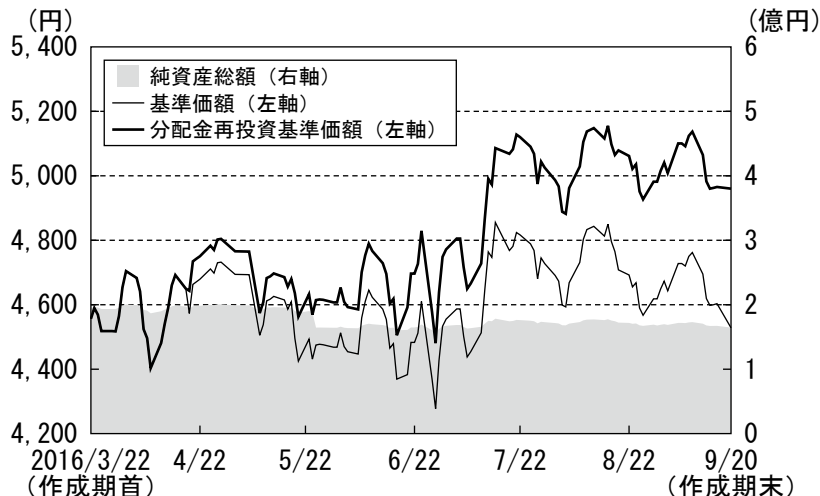
みずほ投信投資顧問

東京都港区三田三丁目5番27号
<http://www.mizuho-am.co.jp/>

運用経過

(2016年3月23日～2016年9月20日)

1 基準価額等の推移



第43期首 (作成期首)	4,556円
第48期末 (作成期末)	4,528円
(既払分配金)	(420円)
騰落率 (分配金再投資ベース)	8.9%

(注1) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額に合わせて指数化しています。

(注2) 作成期間中、最初の分配が実施された以前の期間は、基準価額と分配金再投資基準価額が重なって表示されています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注4) 分配金を再投資するかどうかについては、受益者さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、受益者さまの損益の状況を示すものではありません。

(注5) 作成期間の各期の分配金については、後掲「8 分配金」をご参照ください。

2 基準価額の主な変動要因

主に円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(新興国資源通貨クラス)」受益証券への投資を通じて、米ドル建ての新興国のハイイールド社債に投資を行い、米ドル売り/新興国資源通貨買い(ブラジルリアル、南アフリカランド、インドネシアルピア)の為替取引を行った結果、市況が上昇したことなどから、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

3 1万口当たりの費用明細

項目	第43期～第48期		項目の概要
	(2016年3月23日～2016年9月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.635%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は4,627円です。
（投信会社）	(12)	(0.269)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(16)	(0.350)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、信託財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.003	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(—)	(—)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理に係る費用等
合計	29	0.638	

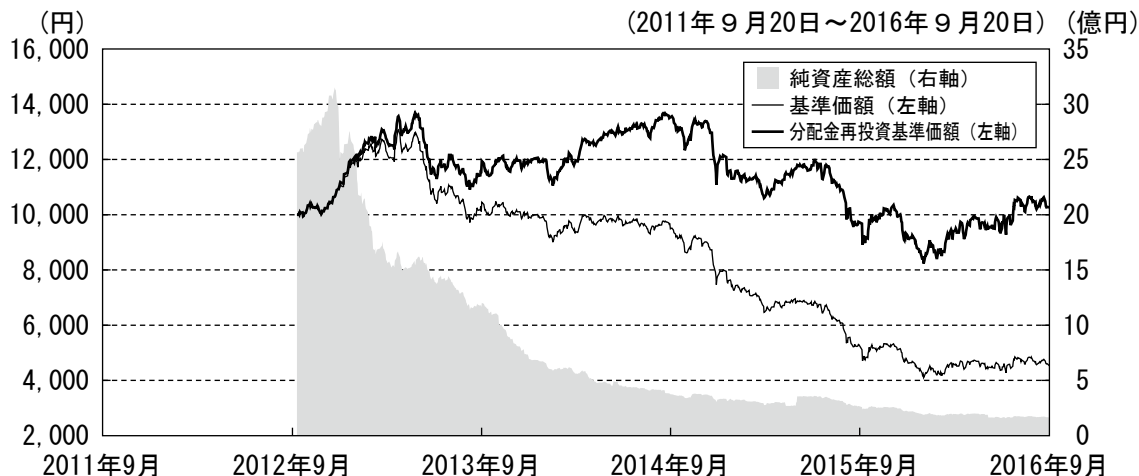
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税および(d) その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 上記の費用とは別に当ファンドが投資対象とする外国投資信託では、運用管理費用ならびにその他費用等がかかります。詳しくは目論見書又は運用報告書（全体版）よりご確認いただけます。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 設定日(2012年9月28日)の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いております。(以下同じ)

(注2) 分配金再投資基準価額は、設定日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

(注3) 当該期間中、最初の分配が実施された以前の期間は、基準価額と分配金再投資基準価額が重なって表示されています。

(注4) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注5) 分配金を再投資するかどうかについては、受益者さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、受益者さまの損益の状況を示すものではありません。

[最近5年間の年間騰落率等]

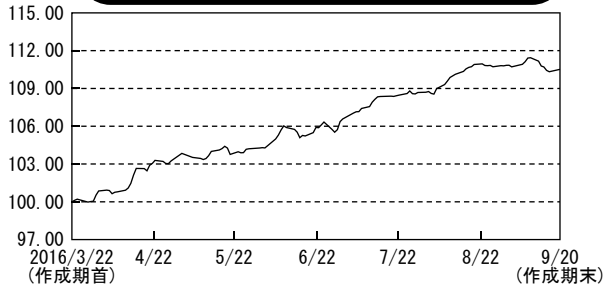
	2012年9月28日 設定日	2013年9月19日 決算日	2014年9月19日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月20日 決算日
基準価額(分配落ち) (円)	10,000	10,117	9,488	5,113	4,528
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,520	2,160	1,980	840
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.6	17.0	△28.4	6.1
純資産総額 (百万円)	2,565	1,164	374	258	164

(注) 当ファンドは、米ドル建ての新興国ハイイールド社債を主要投資対象とし、米ドル建て資産に対し為替取引を行う円建ての外国投資信託受益証券およびわが国の短期公社債等を主要投資対象とする円建ての国内籍投資信託受益証券への投資を基本としています。適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

5 投資環境

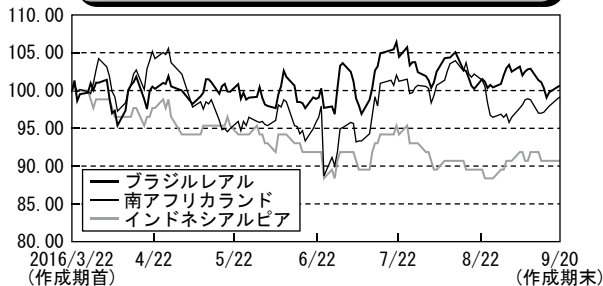
海外債券市場と為替市場

JPモルガンCEMBIブロード・ハイイールド指数(米ドルベース)の推移



- (注1) 値は前営業日のものを採用し、作成期首の値を100として指数化しています。
- (注2) JPモルガンCEMBIブロード・ハイイールド指数は、JPモルガン社が公表している指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はJPモルガン社に帰属します。またJPモルガン社は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

【新興国資源通貨】対円為替レートの推移



- (注) 作成期首の値を100として指数化しています。

新興国ハイイールド社債市場は上昇(利回りは低下)しました。

米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果や、金融当局者のコメント、経済指標等を受けて米国の利上げ観測が後退し、投資家のリスク許容度が高まったことなどから上昇しました。また、世界的に低金利環境が続くなか、高利回りを求める投資家の資金が流入したことなども上昇要因となりました。

国債との利回り格差(信用スプレッド)は縮小しました。ブラジルやロシアのオイル・ガスセクターや金融セクターなどが相対的に大きく縮小しました。

新興国資源通貨は平均すると対円で下落しました。

南アフリカランドは、政治情勢に対する懸念が強まったことなどから下落しました。

インドネシアルピアは、インドネシア中銀による利下げ実施などから下落しました。

ブラジルレアルは、高金利を求める投資家からの資金流入を受けて上昇しました。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの投資環境については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

6 ポートフォリオ**当ファンド**

円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）

主に、米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指しました。

国別では、引き続き中南米やロシアなどの組入比率を高めに維持しました。政治的な混乱が一服したことや財政再建の進捗が期待されることからブラジルの組入比率を引き上げました。また、マクリ新大統領の経済政策への期待が高まるアルゼンチンの組入比率を引き上げました。一方、相場の上昇が一服したと考えられるロシアや中国などの比率を引き下げました。

格付け配分は、BB格とB格を中心としたポートフォリオを維持しました。

債券の組入比率は高位を維持しました。

保有資産に対して米ドル売り／新興国資源通貨買いの為替取引を行いました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は分配金再投資ベースで約9.1%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

（主な上昇要因）

- ・ブラジルやアルゼンチンなど保有する債券の価格上昇
- ・保有する債券の利息収入
- ・米ドルと新興国資源通貨との短期金利差による為替プレミアム

（主な下落要因）

- ・インドネシアルピアなどが対円で下落したこと

〔地域別・国別組入比率〕

2016年9月16日現在

地域名	比率		
	国名	うち国債	
中南米		58.3%	4.3%
	ブラジル	29.7%	
	メキシコ	7.0%	
	アルゼンチン	6.5%	2.9%
	コロンビア	6.2%	
	ジャマイカ	2.0%	
	チリ	1.6%	
	その他	5.3%	1.5%
アジア		14.5%	0.0%
	中国	5.1%	
	インドネシア	4.2%	
	マカオ	2.1%	
	インド	1.5%	
	香港	1.5%	
欧州		20.9%	0.0%
	ロシア	20.2%	
	カザフスタン	0.6%	
アフリカ		1.4%	0.6%
	南アフリカ	0.8%	
	ガーナ	0.6%	0.6%
その他の地域		1.2%	
地域計		96.2%	
その他資産		3.8%	
合計		100.0%	

〔業種別組入比率〕

2016年9月16日現在

順位	業種	比率
1	石油・ガス	26.2%
2	情報通信	13.8%
3	金融	11.1%
4	金属・鉱業	10.3%
5	工業等	8.6%
6	消費	8.4%
7	不動産	5.9%
8	国債	4.9%
9	公益	3.7%
10	パルプ・製紙	1.4%
11	インフラ	1.2%
12	運輸	0.0%
13	多角経営	0.0%
	その他業種	0.8%
	その他資産	3.8%
	合計	100.0%

〔格付別組入比率〕

2016年9月16日現在

格付	比率
A+	0.0%
A	0.0%
A-	0.0%
BBB+	0.6%
BBB	2.8%
BBB-	7.1%
BB+	19.3%
BB	11.1%
BB-	13.0%
B+	9.7%
B	5.1%
B-	20.7%
CCC+	0.0%
CCC	1.0%
CCC-	0.0%
CC+	0.0%
CC	0.0%
CC-	0.0%
C+	0.0%
C	0.0%
C-	0.0%
D	1.1%
格付けなし	4.8%
その他資産	3.8%
合計	100.0%

〔組入上位10銘柄〕

2016年9月16日現在

順位	銘柄名	国名	種別	利率	償還日	格付け	比率
1	ブラジル石油公社 (ペトロブラス)	ブラジル	石油・ガス	6.850%	2115/06/05	B-	6.6%
2	ブラジル石油公社 (ペトロブラス)	ブラジル	石油・ガス	5.375%	2021/01/27	B-	4.2%
3	MTSインターナショナル・ファンディング	ロシア	情報通信	5.000%	2023/05/30	BB+	3.7%
4	ロシア貯蓄銀行	ロシア	金融	5.500%	2024/02/26	格付けなし	3.4%
5	ロスネフチ	ロシア	石油・ガス	4.199%	2022/03/06	BB+	3.1%
6	ブラスケム・アメリカ・ファイナンス	ブラジル	工業等	7.125%	2041/07/22	B B+	2.5%
7	イタウ・ウニバンコ・ホールディング	ブラジル	金融	5.650%	2022/03/19	BB-	2.3%
8	エコペトル	コロンビア	石油・ガス	5.875%	2045/05/28	BBB-	2.3%
9	メキシコ国営石油会社 (ペメックス)	メキシコ	石油・ガス	6.875%	2026/08/04	BBB-	2.2%
10	ガスピロム	ロシア	石油・ガス	3.850%	2020/02/06	BB+	2.1%

(注1) グラフおよび表中の比率は、当ファンドが主に投資対象とする「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用を行うウエスタン・アセット・マネジメント社などから提供されたデータに基づき、みずほ投信投資顧問が算出および表示をしています。

(注2) 組入比率は「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の純資産総額に対する比率を表示しております。

(注3) 国名および業種名は、ウエスタン・アセット・マネジメント社の定義によるものです。

(注4) 格付けは、S & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

※MHAM短期金融資産マザーファンドのポートフォリオの状況については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

7 ベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

8 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

[1万口当たりの分配原資の内訳]

(税込み)

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2016年3月23日 ～2016年4月19日	2016年4月20日 ～2016年5月19日	2016年5月20日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月19日	2016年7月20日 ～2016年8月19日	2016年8月20日 ～2016年9月20日
当期分配金 (円)	70	70	70	70	70	70
(対基準価額比率) (%)	1.508	1.533	1.572	1.447	1.465	1.522
当期の収益 (円)	53	55	59	59	50	54
当期の収益以外 (円)	16	15	11	10	20	15
翌期繰越分配対象額 (円)	951	937	928	917	898	882

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金(税込み)」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 今後の運用方針

当ファンド

円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）」受益証券の組入比率を高位に維持します。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）

新興国ハイイールド社債市場は、投資家のリスク許容度に影響を受けやすいことから、今後もリスク回避が意識される場面では値動きが荒くなることが想定されます。しかし、新興国の一部では構造改革が期待されていることや、同社債の利回りが相対的に高いことから根強いニーズが見込まれ、中長期的には底堅い値動きになると考えます。

主として米ドル建ての新興国のハイイールド社債に分散投資を行い、国・地域やセクターにおける分散を意識しながら、割高な銘柄への投資を抑制し、バリュエーション面で投資妙味の高い銘柄に投資する方針です。

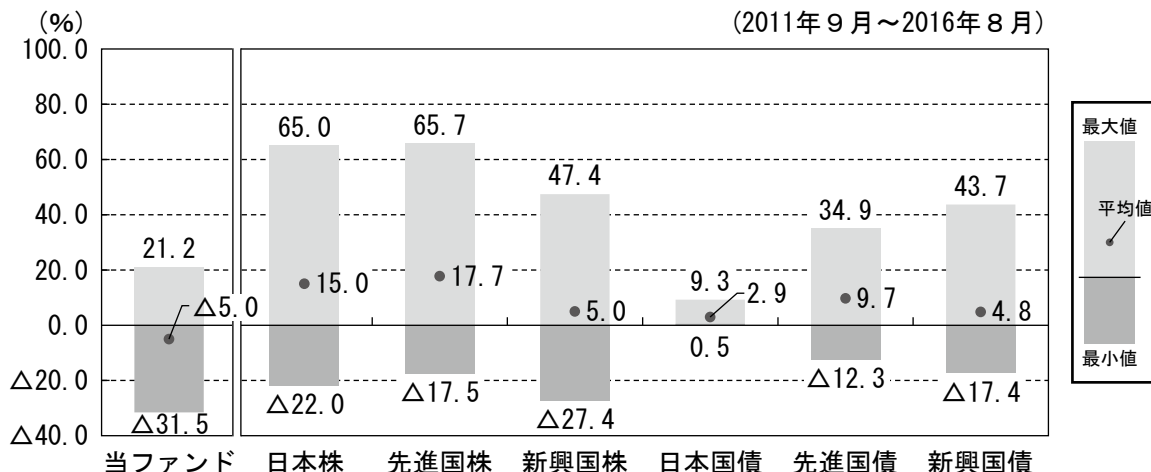
また、保有資産に対して米ドル売り／新興国資源通貨買いの為替取引を行います。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの今後の運用方針については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年9月28日から2017年9月19日までです。 なお、クローズド期間はありません。
運用方針	米ドル建ての新興国のハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	
当ファンド	円建ての外国投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）」受益証券および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （新興国資源通貨クラス）	米ドル建ての新興国のハイイールド社債を主要投資対象とします。
MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	円建ての外国投資信託であるエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）への投資を中心にいき、投資対象ファンドの合計組入比率は、高位を維持することを基本とします。 外国投資信託エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）では、米ドル建て資産について、原則として、1／3程度ずつ新興国資源通貨（ブラジルリアル、南アフリカランド、インドネシアルピアの3か国の通貨）で為替取引を行います。 外国投資信託受益証券への運用指図に関する権限を、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社に委託します。
分配方針	第3期以降の毎期（原則として毎月19日）、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記のグラフは2011年9月から2016年8月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2012年9月28日）から2016年8月までの1年騰落率（2013年9月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

☆各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については最終頁の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

(2016年9月20日現在)

(組入銘柄数：2銘柄)

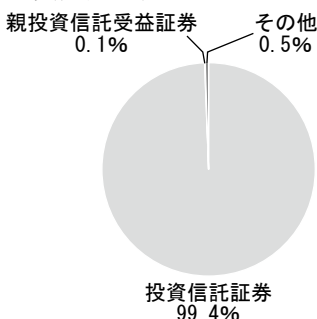
☆組入ファンド

	第48期末 (2016年9月20日)	
	比率	
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (新興国資源通貨クラス)	99.4%	
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.1%	

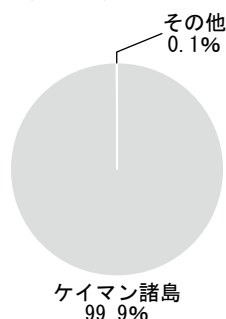
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率を表示しています。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

☆資産別配分



☆国・地域別配分



☆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する比率です。なお、国・地域別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する比率です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

2 純資産等

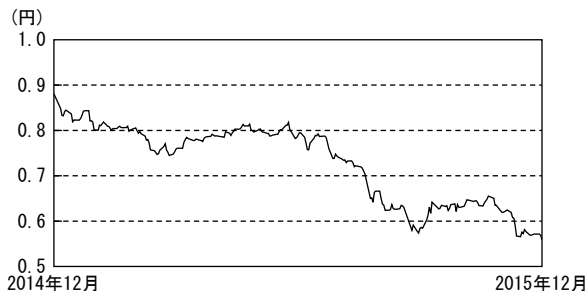
項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2016年4月19日	2016年5月19日	2016年6月20日	2016年7月19日	2016年8月19日	2016年9月20日
純資産総額	193,799,434円	190,146,658円	160,859,858円	174,219,071円	172,213,928円	164,472,373円
受益権総口数	423,773,744口	422,919,089口	367,039,304口	365,392,021口	365,801,118口	363,216,263口
1万口当たり基準価額	4,573円	4,496円	4,383円	4,768円	4,708円	4,528円

(注) 当作成期間(第43期～第48期)における追加設定元本額は1,677,434円、一部解約元本額は66,025,493円です。

3 組入上位ファンドの概要

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（新興国資源通貨クラス）（2015年12月31日現在）

☆基準価額の推移



☆1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

☆組入上位銘柄

[債券]

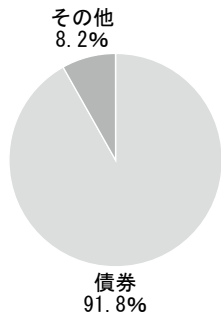
(組入銘柄数：73銘柄)

順位	銘柄	比率
1	SBERBANK FXtoVA 5.50% 02/26/24	3.4%
2	PETROBRAS FLOAT 2.762% 01/15/19	3.2%
3	MARFRIG OVERSEAS LTD 9.50% 05/04/20	3.1%
4	PETROBRAS INTL FIN C 5.38% 01/27/21	3.0%
5	MOBILE TELE 5.00% 05/30/23	3.0%
6	COUNTRY GARDEN 7.50% 03/09/20	2.8%
7	FIRST GEN CORP 6.50% 10/09/23	2.8%
8	EVRAZ GROUP SA 6.75% 04/27/18	2.8%
9	MILLICOM INTL CELLUL 4.75% 05/22/20	2.7%
10	ROSNEFT OIL CO 4.20% 03/06/22	2.6%

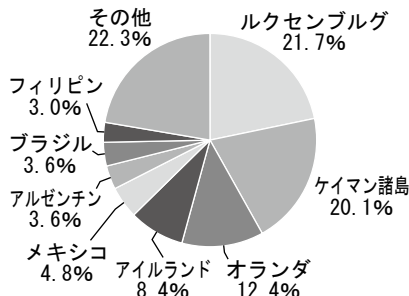
☆為替先渡取引

通貨	比率
	%
ブラジルリアル	33.0
インドネシアルピア	35.3
南アフリカランド	33.2

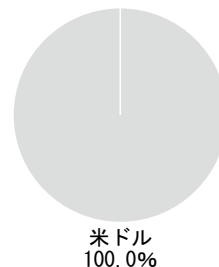
☆資産別配分



☆国・地域別配分



☆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国・地域別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の内容になります。

(注3) 比率は純資産総額に対する比率です。なお、国・地域別配分および通貨別配分については投資有価証券に対する比率です。

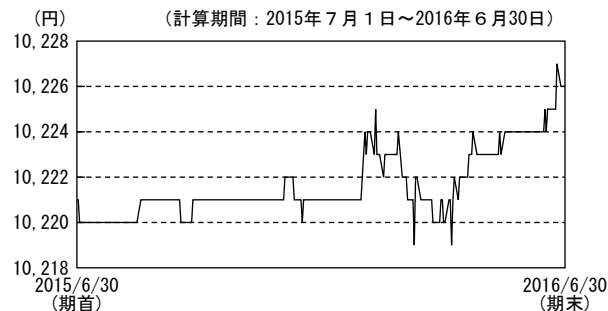
(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 当ファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

MHAM短期金融資産マザーファンド

(2016年6月30日現在)

☆基準価額の推移



☆1万口当たりの費用明細

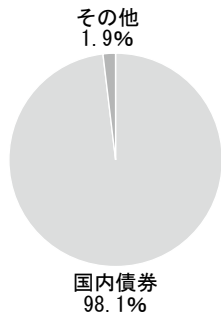
該当事項はありません。

☆組入上位銘柄

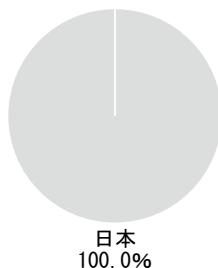
(組入銘柄数：25銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	第639回東京都公募公債	地方債	1.83%	2016/09/20	11.8%
2	第17回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債(金融債以外)	2.00%	2016/08/31	11.8%
3	第866回政府保証公営企業債券	特殊債(金融債以外)	2.00%	2016/08/18	11.8%
4	第13回政府保証日本政策投資銀行債券	特殊債(金融債以外)	2.00%	2016/08/25	9.1%
5	平成23年度第8回千葉県公募公債	地方債	0.35%	2017/02/24	9.1%
6	第264回信中金債(5年)	金融債	0.45%	2016/11/25	7.9%
7	平成23年度第7回福岡市公募公債(5年)	地方債	0.40%	2016/12/26	7.9%
8	第31回川崎市公募公債(5年)	地方債	0.27%	2017/03/17	7.8%
9	い第739号農林債	金融債	0.50%	2016/12/27	3.9%
10	平成18年度第2回北九州市公募公債	地方債	1.79%	2016/12/20	3.1%

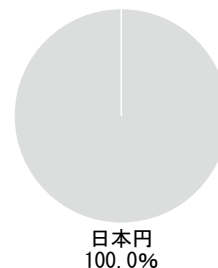
☆資産別配分



☆国別配分



☆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 比率は純資産総額に対する比率です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する比率です。

(注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注4) 当マザーファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

「(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較」について

東証株価指数 (TOPIX)

「東証株価指数 (TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

MSCI コクサイ・インデックス

「MSCI コクサイ・インデックス」とは、MSCI インク (以下、MSCI) が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス

「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

「NOMURA-BPI 国債」とは、野村証券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス (除く日本)

「シティ世界国債インデックス (除く日本)」とは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド

「JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド」とは、JPMorgan・セキュリティーズ・インクが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はJPMorgan・セキュリティーズ・インクに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※株式の指数は、配当を考慮したものです。また、海外 (先進国・新興国) の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

みずほ投信投資顧問株式会社

Mizuho Asset Management Co., Ltd.